

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

美里町健康づくり推進協議会
美里町食育推進会議

2 開催日時 平成27年8月19日(水)18時30分から20時00分 まで

3 開催場所 美里町健康福祉センター 研修室

4 会議に出席した者

- (1) 委員 高橋文一委員、玉手英一委員、袖井文二委員、岡部伸之委員、
佐々木洋子委員、宍戸三千孝委員、伊藤恵子委員、今野幹子委員
- (2) 事務局 課長 青木正男、課長補佐 菊地知代子、技術主幹 伊藤八重子、
技術主査 日野とも子、技術主査 及川沙希、技師 佐々木史絵、
技師 伊藤 恵、分室長 千枝則夫、係長 佐々木早苗、
技術主査 千葉雅子、技師 松井玲奈
- (3) その他

5 議題及び会議の公開・非公開の別 (公開)

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数 無し

8 会議資料

- 資料1 平成26年度の取組み内容及び重点項目別取組み状況
- 資料2 健康みさと21計画目標(指標)と現状値
- 資料3 第2期食育推進計画の進捗状況(目標、指標、取り組み一覧)
- 資料4 小中学校肥満度調査及びがん検診・特定健診の結果
- 資料5 平成27年度美里町町民健康調査実施計画(案)及び調査票(案)
- 資料6 平成27年度美里町食育に関する調査及び児童・生徒の食生活に関するアンケート(案)
- 参考資料 平成26年度保健事業統計

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・町の実態・課題については、的を絞り、改善に向けた取り組みを行う。
- ・食育に関するアンケートや町民健康調査については、ご意見に基づき内容を修正、検討し、実施に向けて進める。

(2) 詳細な意見(別紙)

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委員 _____

委員 _____

会議の経過

青木課長	開会の挨拶
高橋会長	<p>お忙しい時間にお集まり頂きありがとうございます。滞りなく審議、協議できるようにご協力よろしくお願いいいたします。意見は忌憚なく出していただいて、お帰り頂ければと思います。</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。3、議事録署名委員及び書記の選任ということで、いかがいたしましょうか。こちらのご指名でよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし
高橋会長	<p>議事録署名委員としましては、岡部委員さん、穴戸委員さん、よろしくお願いいいたします。書記としましては、佐々木史絵保健師でよろしくお願いいいたします。</p> <p>次に、4、審議事項に入らせていただきます。1)美里町健康増進計画及び美里町食育推進計画の進捗状況について、資料1～4に基づき事務局からお願いします。</p>
菊地	【資料1】「第2期美里町健康増進計画健康みさと21」説明
各担当	<p>【資料1】平成26年度の重点取組内容の報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 栄養・食生活(担当:伊藤恵) P2～3 2 身体活動・運動(担当:伊藤八重子) P4～5 3 歯の健康(担当:日野とも子) P6～7 4 こころの健康づくり(担当:及川沙希) P8～9 5 たばこ・アルコール(担当:佐々木史絵) P10～11 6 生活習慣病(担当:伊藤八重子) P12～13
菊地	【資料2】「第2期健康みさと21目標:指標と現状値」報告
伊藤恵	【資料3】「第2期食育推進計画の進捗状況」報告
菊地	【資料4】の説明
高橋会長	資料4の印刷が薄く、グラフで町の位置が見えない。
菊地	申し訳ありません。色が薄くなってしまいました。数字としては下の表にあるのですが、ほとんど県や全国平均より高い状況にあります。
高橋会長	資料4の一番下の*印の意味が分からない。

菊地	一番下の*印については、一番下の肥満傾向出現率の経年変化のグラフに対してのコメントです。
高橋会長	要するに、全部増加傾向にあるということですね。
菊地	はい。そうです。
高橋会長	以上の報告ですけれども、書類の不備な点を除いて、資料1～4までで、何か気づいた点、ご意見あればお願いしたい。
佐々木委員	資料3で、主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合(朝食)の中で、小学生がぐんと落ちています。小学生が19.5%、中学生が36.3%、小学生は本当に正直な数字かもしれません。中学生になると、身体が要求することと、恰好の悪いことは言いたくない年頃になって、36.3%になった。そして、資料4の肥満傾向児の出現率を見ると、小6、中1、中2、中3とどんどん身体が成長する時に、ちゃんとそろえて食べていないということのつけが出てきて、大人になってメタボの出現ということに、つながっていくのかなと思います。私達、食生活改善推進員は、主食・主菜・副菜をそろえた食事を指導してくださいということで、栄養士の指導を受けながら一緒に地域をまわって指導していますが、30代、40代の小中学校を持つ年代の親御さんたちに指導する場がなかなかありません。去年幼稚園の参観日に、時間を40分頂いて、お話をしたのですが、そこで初めて気付いてくれるわけです。なかなかそのような指導する機会がないんですよ。その辺のところを、どのように機会を作って、呼びかけていく場を作っていけばいいのか、悩んでいるところなのですが、確かに、その辺が抜けているから、大人になってメタボの人の割合が上昇していくんですね。お医者さんのところにも、糖尿病などそのような患者がいるのではないかと思うのですが、どうしたらよいかわからないので、そのような場を考えついたら、ご指導いただきたいと思うのです。
高橋会長	傾向的に出ているのだから、これをいかに還元することができるかどうか、その辺を大きく見出していけないと、統計を取っていても無意味なような気がするので、その都度その都度気づいた時点で、改善項目を挙げていけないといけない。大きなヒントをいただいたような気がします。肥満傾向も含めて、結局大人が食べていると子供も同じような状況になっていきますし、食べ物だけでなく、睡眠時間も含めてですが、生活態度も見直さないといけないうら、良い方法があったら、ご意見をお願いします。
玉手副会長	なかなか難しいです。

高橋会長	そうですね。もろもろ、絡みあっていますから。
玉手副会長	資料2の生活習慣病の「ちょうど良い体重に近づく努力をしている人の増加」と「血圧の正常値を知っている人の割合の増加」は取り組まないことになっているが、この部分に取り組まないと、肥満者が減らないということになるかと思うのですが、これは、これから調べるということですか。
菊地	取り組まないということではなく、調査内容によりまして、毎年数値を取っているものと、5年に1度の健康調査の結果から、5年後の評価ができる数値を持ってくる調査項目のものがあるということで斜線になっているものについては、毎年取っていないのです。
高橋会長	玉手先生からあったように、具体的な数字があると、目標として見えやすいですね。統計としてあるのも大事です。わかるような数字があると良いです。5年毎に取っていても、改善の兆しが見えてこないこともあるかもしれない。袖井委員どうですか。
袖井委員	難しいです。
岡部委員	先ほど、佐々木委員からお話があった、資料3ですけれども、小学生は起きてすぐ食べません。それで、アンケートの内容を見たのですが、3拍子揃って食べてないということになっていますけれども、食卓に出ているのか出ていないかがわかりません。保護者のアンケートと関連性を見ると、そこが見えない。実際は保護者は出しているのかもしれない。その点が、どうなのかなと。ただ、個人的なことなのですが、1週間通して朝食に を出しているとか、野菜を出しているとか、聞いてみてもいいのかなと思います。保護者のアンケートと子供のアンケートが、相反しているような気もするのです。保護者の意見というか、食卓のことを聞くことはまずいでしょうか。給食は全部出していますからわかるのですが、口に入れて残したりしていますけれども、目の前にあれば食べます。佐々木委員さんが言っていた、数値が下がっているということが、出ているのに食べていないのかという点が見えてくれば、数字を上げることを考えれば、アンケートも具体化するとよいと感じました。
高橋会長	的を絞った確認作業も多少必要かもしれません。そうでないと、一般論しか出なくなる。美里町は本当にその傾向なのかどうか。地場産品の使用が増えた原因も含めて、良い所はどんどん伸ばして、悪い所は少しずつ減らしていかないといけない。
今野委員	美里町のことではないのですが、塾をやっている方から聞いた話です。お母さんの帰りが遅くて、塾から帰ってから食べるものがお菓子

	<p>ただだとか、今朝食べたものがチョコレートだけだとか、そういう子が多くなっているのがとても辛い、という話を聞いて、親も忙しい、子供も忙しい、一緒に食事する時間も昔から比べたら、弧食というか、そういう時間が多くなってきているのかと感じます。親も、食事に対する考え方が、自分で身につけていないのか、重点施策にもあるように、健康づくりもそうですし、楽しく皆で食事をするということの親の意識も足りないのかと感じています。この前の会議の時に聞いた話ですが、小学校で、子供達が自分のお弁当を持ってくる日を設けている学校があるということです。食事に対する、栄養バランスなどの知識がなければ、作ったお弁当も意味がないと思うので、まずは子供も栄養を認識して、自分のお弁当を作れるというのはいいいことだと感じましたので、こういうことも考えて頂けたらと思いました。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。今、今野委員がお話したことは、子供の生活全般をひっくめると、子供の肥満傾向の最たるものですね。その辺りの生活態度を改めていかないといけないと思います。お母さんをいかに教育できるか、希望はお母さん方なのだろうと思います。一時期のように、学校に任せればよいという時代でもないですね。</p>
岡部委員	<p>なかなか難しいです。給食に関して、いろいろな市町村を見てきましたけれども、美里町の給食は、野菜もふんだんにありますし、バランスも整っていて、とても良いと思います。本当に恵まれているなと思います。うちの学校ではランチルームで全員で食べています。野菜も、皆で分けますが、学校の中ですし、教員もいますので、友達との張合いや見栄もあるのか、野菜も食べています。残食も少なく、美里町は食べているほうだと思います。他の学校は、野菜をそのまま残しているところもあります。美里町は、給食のバランスや摂取量を見てみると、とても良いなと感じています。違うのは、花山合宿の時ですが、花山の給食はバイキングで、好きなものを食べなさいと言います。野菜もいっぱいありますが、子供達は、ポテトやチキンを山盛り取ります。野菜はほんの少しだけ建前上取るだけです。やはり、好きなものを好きなだけ食べなさいというと、脂肪が増えていくようなものばかり食べるというのが現実です。そこをおさえっていくことが、もちろん学校の給食もそうですし、保護者の方が一言言うとか、出さないということが、小学生には必要ではないかと思っています。</p>
高橋会長	<p>地場産品の使用が増えている点に関しては、低下しないよう次年度も頑張っていたいただければと思います。</p> <p>他によろしいでしょうか。また、改めて発言をしていただいても結構</p>

	です。この件についてはよろしいでしょうか。事務局の方からは、ないでしょうか。
菊地	なかなか課題が大きすぎて、どこからどのように手を付けたら良いかというところでもあったり、明日に改善する内容でないというところが難しいところです。
高橋会長	実績をあげていかないといけないですね。
菊地	絞った取り組みはしていかなければと感じています。
高橋会長	それは必要かもしれません。 他に、ありませんか。
穴戸委員	簡単エクササイズが始まって、申し込んで受けている人がいるということで、今後も地道に継続できると良いと思います。
高橋会長	是非今後も続けて欲しいと思います。 他によろしいでしょうか。気づいたらまた発言していただければと思います。 次に、審議事項の2)としまして、美里町町民健康調査について、よろしくお願いします。
菊地	先ほど指標の中で、斜線を引いていたところが多かったのですが、5年に1度成果の確認と町の実態を把握するためにということで、健康調査を行いたいと思います。資料5をご覧ください。更には、松本委員さんからは宮城県で行いました、県の調査票もご提示いただいておりますので、そちらも合わせてご覧いただきたいと思います。 【資料5】、県の調査票の説明 運動、食生活、歯の本数の捉え方、医療等の受診状況について、県と同様の内容にしてみることはどうかと考えています。
伊藤(恵)	【資料6】の説明 子供に書いてもらうアンケートでは、どういった食習慣が肥満につながっているのか見ていくことが難しいので、親にも記入してもらうアンケートの実施を予定しています。
高橋会長	今のアンケートに関して何か気づいた点あれば、お願いします。
岡部委員	明日校長会があるので、町からこのような調査が来るのでお願いしますと話を出そうと思います。保護者へのアンケートは啓蒙意識が高い。質問ですが、【資料6】の9ページのテーマ「子どもから大人まで肥満の多い町」とありますが、アンケートの結果自体は返すのですか。
菊地	町の実態はこのような状況ですということをお知らせしたいということです。

岡部委員	小学校の状況ということではなく、町全体の状況として返すわけですね。9ページの資料は保護者に出すわけですか。
菊地	案として、このようなアンケートを取る理由は、町の状況を伝えながら、実際どのような状況なのかということをお尋ねしたいということで、1枚資料として入れたいと考えています。
岡部委員	あまりに強い題名だなと感じました。
菊地	マイナスイメージではない題名の方が良いということですね。
岡部委員	内部資料なら良いと思いますが、マイナスイメージになるので、外に出すのはどうなのかと思います。一生懸命やっている保護者の方もいらっしゃいますから。ただ意識させるのには良い資料だと思います。
高橋会長	他に何かないでしょうか。
佐々木委員	【資料5】の8ページですけれども、問8の「授業以外でそれ位」とありますが「どれ位」ということですね。
伊藤恵	直して印刷します。
佐々木委員	岡部委員がお話ししました、【資料6】の9ページですが、保護者のアンケートにつけるのではないのですか。
菊地	1つは、アンケートのお願いと記録用紙、もう1つは保護者向けにお伝えしたい内容を資料としながら、お渡ししたいと思っていたところです。中身は是非こういったところも入れると良いのではないかとこのところのご意見を頂ければと思います。
高橋会長	学校で給食を頂くことがあります。給食時間が少ない気がします。噛む回数も含めて、直していかないといけないのではと思います。よく噛んで食べるには30分位必要です。給食時間は何分でしょうか。正味30分もないかもしれないですね。
岡部委員	そうですね。30分はないですね。
高橋会長	そうだと難しいような気がする。繊維性の物を出したら、野菜も残すと思います。
菊地	ご自宅での様子を聞かせて頂きたいという感じになると良いですか。
高橋会長	食事時間や噛む回数など学校でそのような状況であれば、自宅でも同じ状況なのだと思う。アンケートを取る時に是非知りたいと思う。もう1点として、運動も必要だと思うけれども、スクールバスもあるので、最近歩いて通ってはいませんか。そうだと、徒歩通なのか、自転車通なのか、バス通なのか、を是非聞いて欲しい。町として、通学手段と食生活、肥満について把握しておかないといけないと

	<p>思います。運動も大事だけれども、日々歩くことが一番大事な気がする。通学時間の途中、いろんな事故があってバス通に変わったところもあるようだけれども、もう少し初心に戻って欲しいなという考えがあります。</p>
岡部委員	<p>その通りですね。うちの児童数は127名です。調べたのですが、バス利用者が80数名いました。徒歩はほんの数名、あとは、家の方が玄関から校門まで送るという状況です。これは行政的なこともありますし、学校としては「歩きなさい」と言うことは難しいです。どの学校も同じだと思いますが、体力づくりという形で、いろんな行事、マラソンや縄跳び大会、ドッジボール大会などを実施したり、休み時間に外で遊ぼうなどと、少しでも歩く機会の少ない子に運動をさせようと学校教育として行っていると思います。ですから高橋会長がおっしゃったように、資料の一つとしては大事かなと思います。</p>
高橋会長	<p>バス通も含めて、弊害がないというデータが出てくるが実際はそうではないという気がする。運動面が解決しないと大人になっても継続されると思います。小さいうちから、栄養・カロリーだけ摂っても、さびしいような気がするので、通学手段と肥満が関連しているかどうか、町全体としての傾向をとらえて欲しいと思います。校長先生方にも、子供達の何年かのデータを再確認していただきたいと思います。これからアンケートを取るのであれば、是非運動面についても組みこんで欲しいと思います。</p> <p>委員さん方、その他にご意見があればお願いします。</p>
袖井委員	<p>児童・生徒の食生活に関するアンケートですが、複数の子供がいる場合の記入方法として、数字が書いてあるがわかりづらい。1人1枚の方が書きやすく、簡単だと思うので、配布が簡単なのであれば、その方が良いと思う。</p>
高橋会長	<p>他の地域と同じデータだから良いということではなくて、美里町の子供たちに還元できるようなことになって欲しい。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p>
今野委員	<p>子供の肥満は、こんなにひどい数字だったのかと私にとってはとてもショックでした。実際、小学生、中学生を持つ保護者の方々にも、事実を見てほしいという気持ちもあります。なぜ子どもが肥満になっているのか、ただ、カロリーを減らすことだけではないというところを、町から伝えられる方法を考えてほしいと思います。ショックですが、正確なところも親に認識して欲しいというデータだと思います。</p>
高橋会長	<p>生活習慣病が、家族そろってという傾向ですね。</p>

玉手副会長	町の健康状態を知らないといけないと思うのですが、例えば死亡率とか県や全国との比較を出していただけると、参考になるのかと思います。肥満とどう関係しているのか、そういう資料もあると良いと思います。
高橋会長	比べることは大事です。全国、県、大崎、美里とあるとなおさら良いですね。
菊地	大崎管内としては、メタボもそうですが、心臓病の死亡率が少し高いという状況にあるので、起因とするところは、血圧や肥満が、大崎管内としては課題になってくるというところが、管内の健康づくりの会議で話題となっているところです。町としても、死亡の状況や国保の医療費の状況、それらと合わせた特定健診の生活習慣のアンケートの内容等、どういう状況なのか、その辺りを確認していく作業を進めていきたいと考えているところですので、今後資料でお示ししながらご意見を頂ければと思っています。
高橋会長	死亡率や医療費の状況などコンスタントに統計を重ねていくとわかりやすいのではないかと。
菊地	町だけでなく、比較できるものと合わせてということですね。
高橋会長	比べるものがあるともっと良いですね。 他によろしいでしょうか。
佐々木委員	何を食べているのか他人から覗かれることは嫌なことです。先ほどの、食卓に出しているのか出していないのかというところですが、副菜についても同じように、事実を話すのが嫌だという家庭もあるのだと思います。私は、スーパーマーケットができてから崩れてきたのかなと思います。運動に関して、夏休みでも、近所で遊ぶ子供の姿は見えないし、声もしない。へたに外で遊びなさいと言って、事件に巻き込まれたら大変だということもあるだろうし、時代や環境に流されているような気がします。防げることは何でもしようと、スクールバスになるなど、学校や地域でも苦労しているのだと思います。この時点で運動面について努力しようとか、食事の面はここを注意しようという一連のものがないと、この状況を続けていくと成人までに、健康な身体や心にならないのかと感じます。また、【資料6】の9ページに示されている状況については、大々的に知らせた方が良いと思います。町から配布される健診申込みの資料に、美里町の死亡率など書いてあります。それを見て、美里町の状況について知り、驚きました。実態は町民にどんどん知らせた方が良いのかと私は思います。
高橋会長	ありがとうございます。よろしいですか。伊藤委員いかがですか。

伊藤委員	<p>学校ということだけでなく、全体として、子供も大事ですが、やっぱり親なのだと思います。おにぎりといえばコンビニですし、都会では急須が消え、お茶といえばペットボトルが当然のことになっています。全ての原因がコンビニではないと思いますが、核家族化で人数も減ってくる中で、コンビニに行けば何でも揃うので、すぐコンビニに行って惣菜を買ってくる、という状況で親が食事を作らなくなった。昔は運動会といえば、お弁当を作って持って行ったが、今は、頼んで作ってもらったり買ってきたりということが増え、食事の形態が変わってきている。その中で、佐々木委員が言われるように、意識、食の大切さを、子供だけでなく、親たちにどうやって伝えていくかが一番なのではないかと思います。野菜でも肉でも、命をもらって生きているのだということをいろいろな場面で伝えていかなければと思うし、子供達よりも親のへのアプローチを徹底していかなければ、永久に変わらないような気がします。</p>
高橋会長	<p>いろいろご意見が出ましたので、事務局は取り入れられる範囲内で、有効に活用していただいて、今日の会議が活きるように、アンケートも期待しています。</p> <p>他に、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、3)その他について、ご意見あれば、よろしいでしょうか。事務局の方から何かありますか。</p>
菊地	<p>いろいろご意見いただいて、特に調査票のところでは、お示したのものから、手直しさせて頂いたりする部分があるかと思いますが、実際に、調査をする前に各委員さんに案を提示しながら、ご意見を書面で頂くのか、同じように会議をしながら頂くのか、その辺のご意見を頂ければと思います。</p>
高橋会長	<p>時間はあるのですか。</p>
菊地	<p>何か月後にはなってしまう。</p>
高橋会長	<p>書面も大変ですね。事務局からこのような提案が出ましたが、どういたしましょうか。</p>
岡部委員	<p>おまかせします。明日校長会がありますので、その場で提示して、意見をもらうということも1つの方法かと思います。</p>
高橋会長	<p>意見が集まったあと、会議が必要かどうか検討してください。最終的にこのような形になったということで、我々に示していただければと思います。他によろしいでしょうか。</p>
青木課長	<p>閉会の挨拶</p>